



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年1月29日  
上場取引所 東

上場会社名 伯東株式会社  
コード番号 7433 URL <http://www.hakuto.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 龍三郎  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 近藤 和浩 TEL 03-3225-3412  
四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	89,104	△9.6	2,524	△20.4	2,529	△25.5	1,807	△28.1
27年3月期第3四半期	98,533	0.2	3,170	24.0	3,394	22.8	2,515	58.6

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 1,804百万円 (△50.4%) 27年3月期第3四半期 3,640百万円 (△6.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	82.52	—
27年3月期第3四半期	114.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	78,364	51,420	65.6	2,361.44
27年3月期	82,785	50,799	61.4	2,318.50

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 51,420百万円 27年3月期 50,799百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
28年3月期	—	20.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	136,000	3.8	4,400	2.1	4,400	△3.4	2,900	△14.6	132.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	24,137,213株	27年3月期	24,137,213株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	2,362,350株	27年3月期	2,226,930株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	21,907,993株	27年3月期3Q	21,877,893株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、金融緩和政策の継続と、円安レベルの維持により、全体としては大きな変動はみられなかったものの、個々の産業、業種においては国内外の事件、出来事等に多大な影響を受けたものもあり、好調、不調入り乱れる斑模様を展開となりました。

世界経済は、米国では、大統領選挙を控えて積極的な経済施策が実施される環境下になく、世界が注目した7年ぶりのゼロ金利解除についても十分な慎重さをもって実施され、安定した経済状態の維持に成功いたしました。

欧州では、ギリシャ等の高債務国の問題は時折顔を覗かせるものの、戦争や貧困に苦しむ中東、アフリカ諸国からの難民問題が、テロの深刻化、治安の悪化により、陸続きである欧州地区全体の喫緊の課題となっており、大がかりな経済施策への足並みが揃いにくい状況にあります。

アジアにおいては中国経済の減速が多方面に波及しており、株価の下落、原油をはじめとする商品価格の下落という形で世界全体に重大な影響を与えていることへの懸念が強まっております。

当社グループが主力事業を展開するエレクトロニクス業界においては、自動車産業向け車載関連製品の需要が堅調に推移した一方で、中国の景気減速の影響により、エレベーター、エアコンなどの住宅関連製品向けとスマートフォン向けの電子部品、関連部材、及び製造用設備の需要が減少し、アジアの新興国向けエレクトロニクス製品の生産、輸出は伸び悩みました。

国内市場においては、再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度の見直しの影響により、太陽電池用セル・モジュールの出荷量が減少いたしました。また、半導体市況の悪化により半導体製造装置市場も冷え込むなど、自動車関連以外の分野ではやや低調となりました。

工業薬品関連では、化粧品業界はインバウンド消費の恩恵により堅調に推移したものの、石油・石油化学業界は原油価格の下落を受けて厳しい環境となりました。また、石油化学製品のアジア向け輸出が減速し、紙・パルプ業界では市場の縮小が継続しており、全体では低調推移となりました。

このような環境下において、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は891億4百万円（前年同期比9.6%減）となりました。

損益面につきましては、連結売上総利益は133億95百万円（同8.1%減）、連結販売費及び一般管理費は108億71百万円（同4.7%減）となり、連結営業利益は25億24百万円（同20.4%減）、連結経常利益は25億29百万円（同25.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億7百万円（同28.1%減）となりました。

報告セグメント別の概況につきましては、以下のとおりです。

#### [電子部品事業]

電子部品分野では、自動車関連については電子部品の搭載数が年々増加傾向にあることに加えて、米国の自動車販売自体が好調であることから、車載関連製品は堅調が維持された一方で、ソーラーパネル等の太陽光発電関連製品は電気買い取り価格下落の影響により低迷いたしました。また、パソコンや白物家電市場向けコネクタも中国の景気減速により低調に推移いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は691億68百万円（前年同期比7.5%減）、セグメント利益は14億92百万円（同35.4%減）となりました。

#### [電子・電気機器事業]

電子・電気機器分野では、真空機器は計測、分析市場向けに堅調に推移いたしましたが、LED向け化合物半導体製造装置は製品市況の悪化に伴う設備投資需要の減少を受けて伸び悩みました。半導体パッケージ向け露光装置、ラミネーター等につきましては顧客の設備投資計画の延伸等により、それぞれ計画を下回りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は125億45百万円（前年同期比24.2%減）となり、セグメント利益は4億83百万円（同1.8%増）となりました。

#### [工業薬品事業]

工業薬品分野では、紙・パルプ向け洗浄剤等が競争の激化により苦戦を強いられましたが、石油・石油化学向け重合禁止剤、石油精製用触媒、及びアルカシーランを主原料とする化粧品関連製品の販売は堅調に推移いたしました。なお、前連結会計年度に工業薬品事業の子会社を売却いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は73億72百万円（前年同期比2.6%増）、セグメント利益は4億32百万円（同9.8%増）となりました。

## [その他の事業]

当社の業務・物流管理全般の受託と保険会社の代理店を主たる業務としております。当第3四半期連結累計期間の売上高は5億41百万円（前年同期比0.4%増）、セグメント利益は28百万円（同21.6%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①連結財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産が44億21百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券が4億68百万円増加しましたが、現金及び預金が40億58百万円、受取手形及び売掛金が6億15百万円減少したためであります。

また、純資産は前連結会計年度末と比較して6億21百万円増加し、514億20百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が2億75百万円、自己株式が1億90百万円減少しましたが、利益剰余金が8億14百万円、その他有価証券評価差額金が3億4百万円増加したためであります。

## ②連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは6億18百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは1億16百万円の収入、財務活動によるキャッシュ・フローは43億11百万円の支出となったため、現金及び現金同等物は前連結会計年度末と比較して37億47百万円減少し、当第3四半期末は83億79百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

仕入債務の減少15億48百万円、法人税等の支払額10億16百万円等の支出要因がありましたが、税金等調整前四半期純利益27億16百万円、減価償却費7億82百万円等の収入により、営業活動によるキャッシュ・フローは6億18百万円の収入となりました。なお、前年同四半期には税金等調整前四半期純利益及び減価償却費等により6億1百万円の収入となっております。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資有価証券の取得による支出2億58百万円、有形固定資産の取得による支出1億75百万円等の支出要因がありましたが、投資有価証券の売却による収入5億20百万円、定期預金の払戻による収入3億11百万円等により、投資活動によるキャッシュ・フローは1億16百万円の収入となりました。なお、前年同四半期には定期預金の預入による支出等により、3億96百万円の支出となっております。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入による収入173億30百万円等の収入がありましたが、短期借入金の返済による支出187億76百万円、長期借入金の返済による支出16億76百万円、配当金の支払額9億63百万円等により、財務活動によるキャッシュ・フローは43億11百万円の支出となりました。なお、前年同四半期には、長・短期借入金における（純）返済額による支出18億26百万円等により、26億2百万円の支出となっております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の実績は、ほぼ想定通りに推移しておりますので、平成27年4月30日に公表した通期の業績予想は変更していません。

今後、業績予想に変更が生じた場合には、適切に開示してまいります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項（4）、連結会計基準第44－5項（4）及び事業分離等会計基準第57－4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,437	8,379
受取手形及び売掛金	32,874	32,258
商品及び製品	18,096	18,287
仕掛品	44	41
原材料及び貯蔵品	559	500
繰延税金資産	784	656
その他	1,378	1,564
貸倒引当金	△128	△41
流動資産合計	66,046	61,647
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,111	1,057
機械及び装置（純額）	2,600	2,367
土地	3,080	3,080
その他（純額）	501	478
有形固定資産合計	7,293	6,983
無形固定資産		
無形固定資産	1,332	1,187
投資その他の資産		
投資有価証券	7,324	7,793
退職給付に係る資産	383	337
繰延税金資産	40	29
その他	436	448
貸倒引当金	△71	△64
投資その他の資産合計	8,112	8,544
固定資産合計	16,739	16,716
資産合計	82,785	78,364

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,649	13,401
電子記録債務	2,141	1,671
短期借入金	5,288	3,216
リース債務	61	46
未払法人税等	531	235
賞与引当金	936	692
役員賞与引当金	66	—
製品保証引当金	12	11
その他	2,019	2,305
流動負債合計	25,706	21,581
固定負債		
長期借入金	3,810	2,759
リース債務	54	42
繰延税金負債	1,998	2,152
役員退職慰労引当金	19	21
退職給付に係る負債	364	375
その他	33	11
固定負債合計	6,280	5,362
負債合計	31,986	26,943
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,100	8,100
資本剰余金	7,289	7,289
利益剰余金	34,714	35,528
自己株式	△3,932	△4,122
株主資本合計	46,172	46,796
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,206	3,511
繰延ヘッジ損益	△7	△31
為替換算調整勘定	1,663	1,387
退職給付に係る調整累計額	△235	△243
その他の包括利益累計額合計	4,626	4,623
純資産合計	50,799	51,420
負債純資産合計	82,785	78,364



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	98,533	89,104
売上原価	83,961	75,708
売上総利益	14,571	13,395
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	4,044	3,994
賞与引当金繰入額	772	651
退職給付費用	382	381
その他	6,200	5,843
販売費及び一般管理費合計	11,400	10,871
営業利益	3,170	2,524
営業外収益		
受取利息	14	8
受取配当金	176	238
為替差益	48	—
持分法による投資利益	15	—
その他	68	114
営業外収益合計	323	361
営業外費用		
支払利息	68	47
為替差損	—	193
クレーム処理費	6	63
持分法による投資損失	—	21
その他	25	31
営業外費用合計	100	356
経常利益	3,394	2,529
特別利益		
固定資産売却益	3	1
投資有価証券売却益	—	282
子会社株式売却益	240	—
特別配当金	107	—
その他	13	4
特別利益合計	364	288
特別損失		
固定資産除売却損	7	5
投資有価証券評価損	—	95
リース解約損	27	—
減損損失	27	—
その他	2	0
特別損失合計	65	101
税金等調整前四半期純利益	3,693	2,716
法人税等	1,177	908
四半期純利益	2,515	1,807
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,515	1,807

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	2,515	1,807
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△224	304
繰延ヘッジ損益	△8	△24
為替換算調整勘定	1,330	△275
退職給付に係る調整額	25	△8
持分法適用会社に対する持分相当額	2	0
その他の包括利益合計	1,124	△2
四半期包括利益	3,640	1,804
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,640	1,804

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,693	2,716
減価償却費	810	782
減損損失	27	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△91	△241
受取利息及び受取配当金	△191	△247
支払利息	68	47
持分法による投資損益 (△は益)	△15	21
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△282
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	95
子会社株式売却損益 (△は益)	△240	—
固定資産除売却損益 (△は益)	4	3
特別配当金	△107	—
未払消費税等の増減額 (△は減少)	48	△28
売上債権の増減額 (△は増加)	556	384
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,476	△250
仕入債務の増減額 (△は減少)	△866	△1,548
その他	708	△28
小計	1,929	1,424
利息及び配当金の受取額	309	257
利息の支払額	△67	△47
法人税等の支払額	△1,569	△1,016
営業活動によるキャッシュ・フロー	601	618
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△704	—
定期預金の払戻による収入	719	311
有形固定資産の取得による支出	△352	△175
有形固定資産の売却による収入	4	1
無形固定資産の取得による支出	△219	△164
投資有価証券の取得による支出	△7	△258
投資有価証券の売却による収入	—	520
子会社出資金の払込による支出	—	△100
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	170	—
その他	△6	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△396	116
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	22,128	17,330
短期借入金の返済による支出	△22,428	△18,776
リース債務の返済による支出	△55	△50
長期借入れによる収入	700	—
長期借入金の返済による支出	△2,226	△1,676
自己株式の増減額 (△は増加)	45	△175
配当金の支払額	△765	△963
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,602	△4,311
現金及び現金同等物に係る換算差額	716	△171
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,680	△3,747
現金及び現金同等物の期首残高	11,133	12,127
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,453	8,379

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気 機器事業	工業薬品事業	その他の事業	
売上高	74,778	16,552	7,183	539	99,053
セグメント利益	2,310	475	393	23	3,203

当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気 機器事業	工業薬品事業	その他の事業	
売上高	69,168	12,545	7,372	541	89,628
セグメント利益	1,492	483	432	28	2,437

2. 報告セグメント合計額と四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上高	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間
報告セグメント計	99,053	89,628
セグメント間取引消去	△519	△524
四半期連結財務諸表の売上高	98,533	89,104

(単位：百万円)

利益	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間
報告セグメント計	3,203	2,437
のれんの償却額	△1	△3
その他の調整額	△30	90
四半期連結財務諸表の営業利益	3,170	2,524